

東京平和運動センター

ニュース

NEWS



9.25 横須賀米空母母港化 40 周年・原子力空母 5 周年抗議集会
2000 名の参加者が集会後横須賀市内をデモ行進した。
連帯挨拶する山城議長（沖縄平和運動センター）

目	次
10.21 横田基地へのオスプレイ配備阻止三多摩集会	2
第 50 回憲法理念の実現をめざす沖縄大会	3
さようなら原発アクション	4
特定秘密保護法に反対する声明（平和フォーラム）	5
活動報告	6
今後の日程	6
署名	7

10. 21 横田基地へのオスプレイ配備策動を 阻止し、基地の整理・縮小・撤去を求める 三多摩集会に全都から大結集しよう

沖縄の辺野古新基地建設の課題は、日米政府
一体となって建設強行の姿勢を強めており、予
断を許さない状況です。

さらに、昨年来から大きな問題になっている
のはオスプレイの在日米軍基地配備です。昨年
10月には沖縄県民が大反対するのを無視し、
普天間基地へ強行配備し飛行訓練を行ってい
ます。

こうした中、アメリカ太平洋空軍のハーバ
ート・カーライル司令官は、アジア方面へのC
V-22 オスプレイ配備について、嘉手納基地と
ともに横田基地も候補であることを明らかに
したとの報道が、7月30日に突如行われまし
た。

また、横田基地には府中の自衛隊航空総隊司
令部が既に移転し、第5空軍司令部とともに
「共同統合運用調整所」を設置し、防空及びミ
サイル防衛の運用や調整を行う機能が進んで
います。

そうした状況を踏まえ、三多摩平和運動セン
ターは、例年を超える規模での、「普天間基地
へのオスプレイ配備撤回、横田基地へのオス
プレイ配備阻止、横田基地の整理・縮小・撤去を
求める三多摩集会」を取り組みます。

東京平和運動センターは9月12日に開催
した常任幹事会で、本集会と全面的に連帯して
闘うことを決定しました。従来は三多摩地区の
労組・団体による集会でしたが、東京全体に呼
びかけを拡大し、取り組むこととします。

特に、三多摩地区在住者が多数参加されるこ
とを強く期待します。

- * 10月21日(月) 午後6時30分開会
- * 福生公園 (青梅線・牛浜駅徒歩3分)
- * デモ行進 午後7時40分出発

会場出発⇒第5ゲート前⇒
国道16号⇒第2ゲート前⇒
福生駅・東町公園解散

横田基地へのオスプレイ配備策動を阻止し、 基地の整理・縮小・撤去を求める

三多摩集会

【日 時】 2013年10月21日(月)
PM 6:00集合 6:30開会

【場 所】 福生公園(青梅線・牛浜駅徒歩3分)

【特別報告】 沖縄平和運動センター 山城事務局長

【デモ出発】 PM 7:40 集合場→国道16号→第2ゲート→福生駅前



- ① オスプレイの普天間基地配備撤去!
- ② 普天間基地の即時閉鎖・辺野古新基地建設反対!
- ③ オスプレイの横田基地配備策動阻止!
- ④ 横田基地の日米軍事一体化反対!
- ⑤ 憲法改悪反対! 96条と9条改悪反対!



主催 三多摩平和運動センター 立川市曙町2-15-20
☎042-528-1311

オスプレイの普天間基地配備撤去! 横田基地へのオスプレイ配備策動阻止!

▲ 随機の高価なCV22オスプレイは、昨年10月に沖縄・普天間基地に12機が強行配備されました。
さらに、今年の8月には9機が追加配備され、最終的には24機体制にするとしています。
オスプレイは試作段階で4回の墜落事故を起こし、30人の死者を出しています。2007年には部隊配備が
始まりましたが、2010年4月、2012年4月、2012年6月と3回墜落し、6人が犠牲になりました。この3
回の事故について、アメリカ政府は機体に不具合はなく、操縦士の技術ミスが原因と弁明。同年9月6日
にはアメリカ・ノースカロライナ州で、訓練中に緊急着陸。不安は増すばかりです。



沖縄に配備以降、米軍海兵隊は、オスプレイを岩
国基地やキャンプ吉士に派遣し、そこを拠点に日本
各地で低空飛行訓練を計画しています。

そして、今年の7月30日には、米太平洋空軍司令
官が今後のオスプレイ配備先として横田基地を有力
候補として検討していることを明らかにしました。

オスプレイは最も危険な軍用機です。普天間基地
への配備撤去と横田基地への配備策動阻止。日本各
地での低空飛行訓練反対を実現するため、全国の仲
間と連携しましょう!

横田基地周辺市町長 (立川・昭島・福生・武蔵村山・羽村・瑞穂) による要請書 — 垂直離着陸輸送機CV22 オスプレイの横田基地配備について(要請) —

本日、米太平洋空軍司令官の記者会見時の発言として、米空軍仕様の垂直離着陸輸送機CV22の日本での
配備先について、米平野田基地が有力な候補地であり、日米両政府間で協議中であるとの報道があり
ました。これまで、米空軍によるCV22の我が国への配備計画は明らかになっていない中での、こうした
報道は、まさに復興に水の滴であり、誠に遺憾であります。

横田基地は、人口が密集した市街地に所在しており、かねてより航空機騒音に悩まされ、また、航空
機の墜落や部品落下といった人命にかかわる事故への懸念などからも、周辺住民の日常生活での不感があ
ります。これまで、横田基地周辺市町長協議会では、MV22の横田基地への一時配備に
対し、訓練飛行等に対し、二度にわたり中止等を求める要請を行ってまいりました。今般の報道内容が事
実とすれば、横田基地への配備が検討されていること自体、極めて遺憾なことであり、到底容認できる
ものではありません。

については、垂直離着陸輸送機CV22の横田基地への配備検討の撤回を求めるものであり、日本政府にお
かれましては、米政府に対し、このことを強く求めるよう要請します。

平成26年7月30日
外務大臣 岸田 文雄
防衛大臣 小野寺 五典
北関東防衛局長 佐竹 基 様

憲法理念の実現をめざす

第50回大会開催大綱

11月3日～5日 沖縄県那覇市

大会スローガン

- ・立憲主義を貫き、96条をはじめ憲法改悪を断じて阻止しよう
- ・震災・原発事故の補償と復旧を進めるとともに、脱原発・温暖化克服の環境を築こう
- ・武力で平和はつぐめない、9条をいかして沖縄をはじめ基地を縮小・撤去しよう
- ・日朝国交正常化を実現させ、日本と東北アジアの非核化・軍縮をすすめよう
- ・侵略戦争と植民地支配の歴史と責任を明確にし、戦後補償でアジアと和解しよう
- ・国際人権条約を完全批准し、差別や人権侵害のない多民族・多文化共生社会をつくろう
- ・子どもの権利条約に基づく教育・福祉・環境を実現しよう
- ・地方の自立と市民政治を確立しよう

内容

◎開 会 総 会 11月3日(日)
13:30～14:30 那覇市民会館大ホール

◎分 科 会 11月4日(月)
09:30～13:00 那覇市内(ゆいレール沿線)
総 テ ー マ (大会テーマ＝沖縄と共に問おうー平和、人権、命ー)

①非核・平和・安全保障ー基地のない沖縄
自治会館大ホール
＝朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)中国に対して、アメリカ・日本・韓国は軍事的な圧力を強める一方で、米国の軍事費削減と太平洋地域の米軍編。危険なオスプレイ沖縄配備と全国での訓練などの状況を踏まえて討議します。

②地球環境ー脱原発に向けて
那覇市ぶんかテンブス館ホール
＝脱原発に向けたエネルギー政策の転換への

具体的道筋を、安倍政権の原発依存政策に対抗して経済、雇用問題を含めて協議。自治体・地域の運動、日常生活のとりくみをも検討します。

③歴史認識と戦後補償
教育福祉会館大ホール
＝「従軍慰安婦」や強制連行・強制労働、歴史歪曲教科書など、国際的に問われた日本と日本人の歴史認識・人権意識で糾すべき課題は山積しているなかで、歴史認識や未解決の戦後補償をめぐる課題について協議します。

④教育と子どもの権利
沖縄県立博物館・美術館講堂
＝「子どもの権利条約」の理念は定着せず、法制度も不備のまま。加えて「愛国心」押しつけや競争主義が助長されるなかで起きた震災と原発事故をはじめとしたさまざまな事態。子どもたちへの影響や教育現場の状況はどうか、ともに協議します。

⑤人権確立 自治会館中会議室
＝大震災で問われた「生命の尊厳」。あらためて問われた人権の課題や、女性差別や部落差別の現状と人権救済法制定に向けた課題も議論します。

⑥地方の自立・市民政治 自治会館大会議室
＝原発や基地への交付金依存で歪められた地域社会と自治体財政。かたや長年、基地を押しつけられた自治体では、健全な計画が阻まれてきました。脱原発・基地撤去の課題を検証します。

⑦憲法 ほしぞら公民館
＝立憲主義放棄の96条改悪や、国会での憲法審査会、自民党改憲案などさまざまな憲法をめぐる動きのなかで、重要な焦点をともに考えます

9. 14「さようなら原発大集会」に 9000人が参加(亀戸中央公園)

関西電力大飯原子力発電所(福井県)4号機が停止し、再び原発ゼロとなる前日の9月14日、原発の再稼働反対を訴えて、9000人が亀戸中央公園(東京・江東区)に集まりました。集会冒頭に登壇した、福島から東京に自主避難している二瓶和子さんは、国から棄民扱いをされている現状の中で、自主避難している母親同士が集まって生活を支えあっている現状を報告。横須賀の小原慎一さんは、横須賀基地を母港として5年になる米海軍原子力空母ジョージワシントンについて、「動く原発」に対しても反対の声を上げていこうと訴えました。

原発立地の各地からの報告では、活断層の問題のほか、火山灰が滞積した土壌での土石流の危険性。内海に位置する原発では、汚染水漏れで漁業等に深刻なダメージを与えるなどと、それぞれに原発稼働の危険性を訴えました。

主催者あいさつで大江健三郎さんは、東京オリンピック招致での安倍首相の発言について、「首相は現実を見ていない。我々はそうした首相を選んでいる。それが選挙の結果」と私たち



自身の問題に触れた上で、今日の集会に参加している人々は、将来の子どもたちに残すべき未来をつくる志をもった人々であり、「私もそれを行動で示したい」とアピールしました。

集会後参加者は、浅草・押上コース、錦糸町コースの二手に分かれてデモ行進をしました。

(原水禁報告より)

9. 1 さようなら原発講演会に 2000人が参加(日比谷公会堂)

9月1日、東京・日比谷公会堂を会場に「9. 1 さようなら原発講演会」が開催され、会場の定員に達する、約2000人が参加しました。

「3. 9つなごろうフクシマ! さようなら原発大集会」でも司会を務めた女優の木内みどりさんが司会を担当。呼びかけ人の鎌田慧さんのあいさつに続いて、バンド「ジントラムータ」によるオープニングライブで、講演会はスタートしました。



初めに、福島からかけつけたいわき市議会議員の佐藤和良さんが、この日が関東大震災から90年にあたることにふれて、「今日の集会は、必ずしも福島や浜岡、柏崎刈羽の問題ではない。関東大震災が起これば、この首都圏こそが『原発現地』になりうるという想像力を働かせてほしい」と発言しました。

呼びかけ人の大江健三郎さんは講演の中で、「脱原発を実現すること、私たちの大切なモラルは次の世代が生き残れる社会を残していくことだ」と訴えました。コントグループ「ニュースペーパー」によるコントの後、京都大学原子炉実験所助教の小出裕章さんによる講演があり、「私が原子力に反対するのは他人の犠牲の上にしか成り立たないものだからだ」と、データなどを交えながら力強く解説しました。

呼びかけ人からは澤地久枝さんが「原子力政策に責任のある人の責任を問うていきたい」と発言。内橋克人さんが「『技術の進歩により安全になる原発。私たちの国だけ持たなくていいのか』というような、新しい原発安全神話が猛々しく、メディアを通じて流されている」と、現政権の姿勢を批判しました。閉会のあいさつで、落合恵子さんが「『まるで原発事故などなかったかのように』社会の流れを変えようとしている、そんな政治の中に私たちは生きている。その恐ろしさを心に刻みましょう」と呼びかけました。(原水禁報告より)

2013年9月24日

「特定秘密保護法案」に反対する声明

フォーラム平和・人権・環境
代表 福山 真劫

警視庁テロ捜査情報流出や尖閣ビデオ流出事件を契機として、有識者会議が開催され報告が出されるなど、秘密保全法制については政府内部での検討が行われてきましたが、安倍晋三内閣は9月3日、「特定秘密保護法案」の概要を示し、パブリックコメントを9月17日に締め切り、10月15日開会の臨時国会で成立をめざすとしています。

本法案は、国家安全保障会議とセットとして成立させ、集団的自衛権を具現化する「国家安全保障基本法案」の呼び水となる法案です。憲法の理念を法律でねじ曲げ、平和主義をないがしろにし、戦争実行のためにする政治的策動です。国民が国政に参加する権利は、「国民の知る権利」によって成り立っています。憲法21条「表現の自由」の条文は、広くはこの「国民の知る権利」を保障するものであり、「特定秘密保護法案」は、「国民の知る権利」を真っ向から否定しています。

「秘密にできる権利」を高め、情報操作する権能を強くする国家ほど、戦争をたやすく出来る国家であることは疑いようありません。

「特定秘密保護法案」は、日本社会の今後の在り方を左右するものであり、歴史の反省の上に立ち、断じて許されるべきものではありません。

平和フォーラムは、以下の視点から、「特定秘密保護法案」に反対します。

①秘密の範囲が、政府の恣意的判断で広がりかねないこと。特定秘密に「公共安全および秩序の維持」の概念を差し込み、国家の無制限な恣意的判断を許している。特定秘密を指定するのが当該行政機関とされていることからすると、重要な国家情報に関して、恣意的な情報統制・情報隠しが、より容易にできるおそれがある。

②「公共安全」「秩序の維持」が、民主主義よりも高い価値であるという社会規範を広めようとするものであること。

③国の重要な情報ほど、秘密にされ、また秘密にされる期限が限定されず、無期限・非公開などの措置を可能にし、「秘密にしたまま」担当省庁の判断で廃棄され、歴史的記録からも抹殺される可能性があること。

④「軍機保護法」などによりきびしく報道が規制された戦前の軍国主義社会を考えると、国民の知る権利は民主主義の原則であり、そのことをないがしろにする法制度は現代社会に相容れないこと。

⑤公務員には懲役10年の最高刑が示され、国民の不利益に対する内部告発などは全く不可能になること。公務員に対する報道機関の取材も制約され、結果として国民の知る権利が侵害されるおそれがある。

⑥国会議員の全てに情報の共有が保証されず、一部与党や官僚による情報の占有が危惧されること。

⑦特定秘密を取り扱う人のプライバシーについて、公私を問わず、調査し管理する「適性評価制度」が提案されており、秘密を取り扱う人への思想統制、差別、人権侵害が起こるおそれがあること。

集団的自衛権を容認し、米国と一体となって戦争をするための「国家安全保障基本法案」の第3条2項において「教育、科学技術、建設、運輸、通信その他内政の各分野において、安全保障上必要な配慮を払わなければならない」、また、3項において「我が国の平和と安全を確保する上で必要な秘密が適切に保護されるよう、法律上・制度上必要な措置を講ずる」とされており、「特定秘密保護法案」と「国家安全保障基本法案」は、一体の関係にあります。

「武力で平和はつukれない」を掲げ、徹底して憲法の平和主義を具現化するとりくみをすすめてきた私たち平和フォーラムは、憲法理念に反する「特定秘密保護法案」および「国家安全保障基本法案」の成立阻止に向け、全力でとりくんでいくことを決意します。

活動日誌

- 09.01 さようなら原発講演会「つながろうフクシマ!くりかえすな原発震災」
(13:00～東京・日比谷公会堂)
- 09.14 再稼働反対!さようなら原発大集会 in 亀戸(11:00～東京・亀戸中央公園)
- 09.12 東京平和運動センター常任幹事会
(田町交通会館)
- 09.12 狭山東京実行委員会幹事会
(田町交通会館)
- 09.17 日朝平壤宣言 11 周年集会
(18:30～東京・連合会館)
- 09.19 T P P 問題学習会
(18:30～連合会館)
- 09.25～26 平和フォーラム各都道府県・中央団体責任者会議(横浜市)
- 09.25 横須賀米空母母港化 40 周年、原子力空母 5 周年抗議集会
(18:00～横須賀市)

今後の日程

- 10.05 超低空飛行訓練中止を求める四国集会
- 10.06 東海ブロック憲法集会(三重)
- 10.13 NO NUKES DAY(日比谷公会堂)
- 10.31 狭山事件の再審を求める市民集会
(13:30 日比谷野音)
- 10.31 狭山事件映画上映会
(18:00 日本教育会館)
- 11.3～5 憲法理念の実現をめざす第 50 回大会
(那覇市)
- 11.09 合成洗剤追放全国連絡会総会・講演会
(13:00～全水道会館)
- 11.20～21 部落解放共闘全国交流集会(岐阜市)
- 11.29～30 第 45 回食とみどり、水を守る全国集会(仙台市)
- 12.07 もんじゅを廃炉へ!全国集会
(福井・敦賀市)

東京平和運動センター第 6 1 回常任幹事会

9 月 1 2 日 (木) 1 4 : 0 0 東交会議室

I. 報告事項

- ① 被爆 68 周年原水禁世界大会
- ② 狭山東京実行委員会
- ③ その他

II 協議事項

1 オスプレイの横田基地配備策動を阻止し、基地の整理・縮小・撤去を求める三多摩集会について

東京平和運動センターとして全面的に協力し、集会を後援するとともに、沖縄平和運動センター山城事務局長の招聘を確認

2 さようなら原発アクションについて 当面する諸集会への積極的参加を確認

3 第 50 回護憲大会について 各団体の積極的参加とその状況を確認

4 狭山事件の再審を求める闘いについて 当日、前段で開催された狭山東京実行委員会の報告を受け、以下の取り組みを決定

- * 東京高裁裁判長宛要請はがきを、全ての組織で取り組む
- * 10.31 狭山事件の再審を求める市民集会と映画上映会への参加

5 その他

「現行の高校授業料無償化制度を継続し、新たな財源で給付型奨学金を求める署名」の全組織での取り組みを確認
(次ページ参照)

6 次回幹事会

11 月 1 5 日 (火)